

# 萌芽会報

第4号

昭和62年5月1日発行



機械電気科

萌芽会・編集部

編集発行人 大久保 和行

大阪市都島区善源寺町1丁目5の64  
都島工業高等学校  
機械電気科研究室  
TEL:06-921-0231代

## ご挨拶

田中喜一  
(昭和41年卒)

## クラス会から萌芽会に

橋本三千穂

会員の皆様、お元気でご活躍のことと思います。萌芽会の発展の為に皆様の多大な協力をいただきました事厚く御礼申し上げます。

さて、萌芽会も昨年度念願の総会を開催することができました。役員一同、不慣れながらも、多数の御参加を願えた事は大変うれしく思います。今年も第10回の総会を昨年と同じ場所で開催する予定です。会員の皆様、日頃は忙しくなかなか時間がとれない事と思います。しかし年一回の総会にはぜひ御参加下さい。昔を思い出し、同期の方と連絡を取り合って多数の御出席をお願いいたします。想い出話に花が咲いて必ず盛り上ります。会員間の結束を高め、萌芽会発展の原動力になると確信しています。御理解と御協力をよろしくお願い致します。

次に会費納入のお願いです。萌芽会の運営は浪速工業会よりの還付金でまかなわれまます。還付金がなくなれば運営ができません。納入者の数がまだまだ少く、浪速工業会の年会費3千円の納入をぜひお願い致します。13が萌芽会へ還付

まだまだ未熟な部会です。会員の皆様のお気付け点やご要望がありましたらぜひ御一報下さい。今後の活動に反映させてゆきたいと思っております。

最後になりましたが皆様の健康と益々のご活躍をお祈り申し上げ、なお一層のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

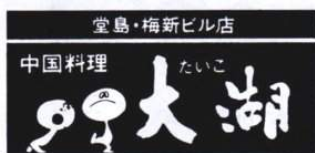
萌芽会々員の皆様には、それぞれの職場においてご活躍のことと存じます。昭和62年は都工にとって創立80周年の歴史を祝う諸事業、更に伝統を受け継いできた本館の建て替え第一期工事と、大きな事業を行う年であります。会員の皆様の絶大な協力賜り、無事成功し21世紀への堅固たる足場を確立致したく存じます。

さて、萌芽会は浪速工業会の中では最も若い存在ではありませんが、26期生を輩出するまでに堅い年代を迎えております。歴代の役員諸氏のご努力により年々着実に活発化に向っていることは誠によろこばしい限りであります。ここに、田中会長をはじめ役員諸氏のご労苦に感謝申し上げます。

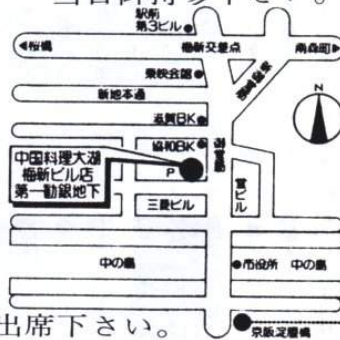
浪速工業会費の払込み  
に御協力ください。  
昭和61年度は93名の会  
員の皆様により払込み  
いただきありがとうございました。  
萌芽会へも還付  
されます。

### 第10回 萌芽会総会 並びに 懇親会御案内

**日時** 昭和62年6月27日(土) PM6:00~9:00  
**会費** ￥6,000円 (新卒会員 ￥1,000円)  
**場所** 大湖(梅新店) (下図参照) 当日御持参下さい。



〒530 大阪市北区堂島1丁目1番5号  
(梅田新道ビルディングB1 サンドリオン梅新)  
☎06-344-3350代



☆お誘い合わせの上、多数御出席下さい。  
☆幹事又は会長迄 6月10日迄にお知らせ下さい。

### 第3回萌芽会 ゴルフコンペ御案内

**月日** 昭和62年10月21日(水)  
**場所** 茨木高原カンツリークラブ  
**申込締切** 昭和62年6月末日

参加御希望の方は各クラス幹事又は事業部長 安養寺(昭43卒)まで御連絡ください。詳細決定後直接御通知致します。

一般的に同窓会は役員の方の割には実が上らない傾向にあります。それぞれが離ればなれになり、連絡が取りにくい、あるいは、中堅的存在であるため時間的余裕が無いなど理由は多くあると思われまますが、しかし、同窓会ほどすばらしい会もないわけでありまます。  
活性化の手懸りとして、まずクラス会の開催からお願いを致します。すでに活発に行われているクラス会もありますが、はじめ役員諸氏のご労苦に感謝申し上げます。ここに、田中会長をはじめ役員諸氏のご労苦に感謝申し上げます。

クラス会の事務所(拠点)として学校(機械電気科研究室)を利用して下さい。先生方の退職や転出によって当時の担任の先生がいないう状況も多くなっておりますが、致し方ないことですので在勤者のご協力致します。

更に、来阪の際、あるいはお近くを通りぬる際には、お立ち寄り下さり後輩の指導や近況を報告賜れば幸に存じます。

ポスター・パンフレット・ダイレクトメール等、あらゆる印刷物のデザインから製作まで

## 美術印刷 山岡印刷株式会社

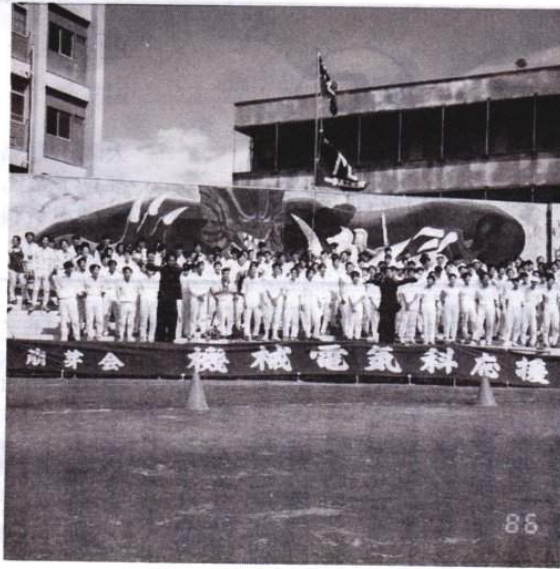
山岡元修(昭和41年卒)

大阪市北区天満3丁目10番17号 電話 06(352)6441(代表)

# 母校だより

## 体育祭と文化祭

母校都工祭は、創立80周年前年祭として、体育祭は昭和61年9月21日、文化祭は11月1日、2日にそれぞれ開催されました。体育祭におきましては、2クラス完成2年目を迎え、生徒諸君もバック・スタンド・応援・競技にと燃えた結果、競技の部



## 卒業記念品の贈呈

昭和61年度卒業証書授与式が昭和62年2月27日(金)母校本館でとり行われました。機械電気科の79名の卒業生に記念品として精密ドライバーセットを各1日持参して贈呈致しました。

## 「学校生活に ついて」

長尾伸一

(機械電気科3年)

早いもので昭和62年度となり僕も今年、都工での最後の学校生活を迎えることになり、また進路決定の大事な一年になり

では1年生が学年優勝、総合では得点一七三点で第2位(優勝は機械科で一八九点)の快挙をなしてました。尚、仮装の部は第3位でした。今年度の体育祭が楽しみです。

更に、文化祭では各先生方の指導のもとで他科に負けない充実した展示を行い、機械電気科の勢いを披露致しました。

ます。さて、過去2年間の学校生活についてふり帰ると、まず、入学して感じたことは、一人一人の持っている能力が、非常に高いことです。たとえば、僕から見ても、ふだんあつげらんともさも勉強をしないような人でも、試験になると、なかなか良い点を取る人や、試験の直前で、まる暗記したりして、良い点を取る人が少なくありません。しかも入学当初などは、まるつきりできない人、大変できる人があまりいなかったため、わずかの差で、席次が決まるというふうな話も聞いたことがあります。という点から、都工にはなかなか頭のいい良い人が、多く入学していると感じています。

次に月曜、木曜の週2回の朝の集会ですが、他の高校は都工のようにこんなキチッと決まっていなくて聞いています。雨天の時以外は本鈴5分前に運動場に集まって、出席点呼の後、先生方の話を聞いたり、表彰を行ったりするのが内容ですが、これを僕らが入学する何年も前からずっと続けているということは大変すごいことであり、都工の良き伝統の一つと言えると思います。次に2学期に行なわれる都工祭についてですが、内輪だけで盛り上がるのではなく、外来者が大変多いと思います。

卒業生の方や家族の方々などが忙しい仕事の合間をぬってやって来られるのを見ると、本当に

やつてよかったという気持ちになります。体育祭では応援披露仮装行列などが大変盛り上がりを見せ、また文化祭では、クラブ展示や各科の展示、去年は軽音楽部の運動場の特設ステージでのコンサートなどすばらしい催しがありました。今年も創立80周年を迎える年でもあるので大変すばらしい都工祭になるだろうと思いますが、本館改築のため、運動場が使用不可になる恐れがあるという話を聞きま

した。都工祭自体が中止になるようなことはないと思いますが、一体どうなるのか少し不安です。とにかく毎年度最高学年である3年生が中心になってがんばっているのが見受けられました。僕も今年3年生、都工祭、クラブ活動、その他もろもろの学校生活を、悔いのないよう一杯がんばっていききたいと思っています。

## 「クラブと勉強との両立」

藤原清隆

(機械電気科3年)

僕は都工に入学した時からクラブには入った方がよいだろう

と聞いて、中学の時から野球をしていたので軟式野球部に入部しました。一年の1学期はクラブがしんどくて帰宅するとすぐ寝ていて、勉強どころではありませんでした。授業の方はほとんど難しくなっていく、僕にとってはあまり知識のない専門教科

があつて、とても苦痛でした。テスト一週間前になつてもあまり勉強はせず、二日前ぐらいからあわてて勉強する有様で、ほとんど一夜づけの状態でした。このような事ではいけないと思

い、少しずつ直していきました。しかし、それはテスト前だけで日頃の家庭学習は全くと言っていい程できていませんでした。二年になつて、クラブと勉強の両立を真剣に考えるようになりました。それは、クラブの先輩にしっかりと両立させている先輩がたたくさんいたからです。得意な科目はもっと伸ばし、苦手な科目は克服できるように苦手を解いたりして少しずつ勉強をやり始めました。クラブで疲れた時などはなかなかできませんが、これからはできる限りがんばって続けたいと思います。そして、クラブでは主将になりみんなを引張る立場となりました。それだけの力はありませんが、僕自身がつかりて、チーム一丸となり、力をつけて大会で優勝できるようにクラブを盛り上げていきたいと思っています。

## 「3ヶ年の思い出」

古山義人

(昭和62年卒)

私は昭和62年2月27日無事大阪市立都島工業高等学校機械電気科を卒業する事が出来ました。この3年間、楽しい事、辛い事がたくさんありました。学校行事では、体育祭文化祭、毎日放課後準備のため晩遅くまで居残りスタンドやバックや文化祭に展示するパネルなど製作するのに辛い事があつたが体育祭、文化祭当日は、非常に楽しかつた。特に3年の体育祭では機械電気科が初めて2位になりました。遠足、修学旅行では、自由行動が多く楽しめた。又、社会見学では、工場の大きさ、最新技術、商品の精密さに驚きまし

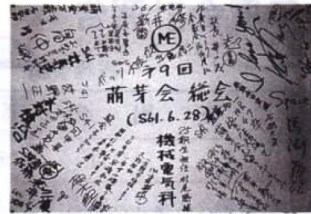
た。私は入学前は機械電気科では単に機械と電気だけを学ぶと思つていたので、機械・電気他工業計測・自動制御など機械電気科の科目も多くの教科に驚き、又不安にもなりました。機械電気科では時間数が少ないので、授業では教科書の一部しか勉強出来なかつたり授業が速く進むあまり理解出来なかつたりしたが、多くの事が学べました。3年間に、計算技術検定1級、電気工士、情報処理技術検定1級などの資格を取る事が出来、自信が付きましました。3年間で一番辛かつた事は実習のレポートで一年ではあまりなかつたが、二年になると毎週、更に三年では週一回とほとんどが実習には旋盤や溶接の機械実習・電動機や電気回路などの電気実習・情報処理・流体応用・自動制御実習などさまざまな実習があり、又選択実習では、いろいろ変つた物を作り、辛いレポートがある反面、実習は非常に楽しい勉強、体験になつた。昨年は、就職するのに例年より不利な点が多く、企業を決めるにも非常に悩みましたが、幸い無事自分が希望する通信・情報処理の職種富士通株式会社に入社することが出来ました。会社では、機械電気科で学んだ事や体験した事を生かして、勉強し多くの知識を得て、速く立派な技術者として、がんばって行きたいと思っています。

# 61萌芽会総会開く

## (第9回総会)

昭和61年6月28日、「第9回萌芽会総会」が梅新「大湖」にて開かれた。

司会の中島聖(49卒)君の開



参加者全員による書き

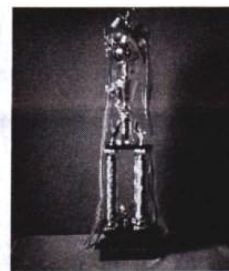
会の挨拶で、萌芽会総会の、スタート、会前改定、会務会計報告などのあと、田中喜一萌芽会長の挨拶、御来賓の井口茂字校長、原田義夫浪速工業会理事長、橋本三千穂機械電気科長の御挨拶がありまして、無事閉会しました。

そのあと第 部の懇親会は、岩地馨(41卒)君に司会が変わりまして、元萌芽会会長馬淵敏治(38卒)先輩の首頭で乾杯、懇親会も盛り上がりました。新卒会員(7名)の自己

# 第二回萌芽会ゴルフコンペ

なお今回ゴルフ同好会を結成しトロフィーを購入しました。毎年秋に開催します。会員の皆様はどなたでも参加できますのでぜひお申し込み下さい。

今年から登場した優勝トロフィー



一昨年に引きつづき「回目」が開催されました。昭和61年10月22日(水)、場所は茨木高原カントリークラブで11名(3組)が日頃の腕前を競いました。あいにく強風の荒模様でスコアも乱れがちでしたが、昨年度優勝の池田努(43卒)君が2年連続優勝されトロフィーと賞品を獲得されました。

紹介も楽しい雰囲気である頃に、参加者約50名になりました。そして、大盛況の内、カラオケ大会も終え、元理事の松下清(47卒)君による万才三唱により、懇親会も無事終了しました。



井口校長先生の挨拶



新卒会員全員の歌

## 昭和62年度 萌芽会役員名簿

(役職)	(氏名)	(卒年)	(役職)	(氏名)	(卒年)
会長	田中 喜一	S 41	幹事	藤咲 猛	S 48
副会長	安養寺 哲夫	S 43	〃	中島 聖	S 49
事業部長	安養寺 哲夫	S 43	〃	小野 寛	S 50
事業部	高橋 良司	S 43	〃	柏原 正一	S 51
総務部	岩地 馨	S 41	〃	畑田 敏昭	S 52
編集部長	大久保 和行	S 41	〃	是松 繁	S 53
編集部	田中 喜一	S 41	〃	酒井 宏	S 54
幹事	平田 克彦	S 37	〃	森本 雅幸	S 55
〃	馬淵 敏治	S 38	〃	金本 春尚	S 56
〃	小原 正利	S 39	〃	中田 淳二	S 57
〃	白露 義照	S 40	〃	竹野 泰幸	S 58
〃	岩地 馨	S 41	〃	浦野 高志	S 59
〃	山本 隆男	S 42	〃	瀬尾 孝志	S 60
〃	安養寺 哲夫	S 43	〃	稲村 信男	S 61a
〃	今井 進	S 44	〃	岩本 尋志	S 61b
〃	畠中 聡	S 45	〃	斉藤 陽一	S 62a
〃	山崎 龍行	S 46	〃	谷口 哲也	S 62b
〃	玉城 洋一	S 47			

## 昭和61年・62年度浪速工業会役員名簿

(役職)	(氏名)	(卒年)	(役職)	(氏名)	(卒年)
理事	中島 聖	S 49	参事	千葉 晴夫	S 37
評議員	牧野 正一	S 41	評議員	藤咲 猛	S 48
〃	柏原 正一	S 51	〃	畑田 敏昭	S 52
〃	塩田 俊之	S 53	〃	酒井 宏	S 54

# 61年度 ボーリング大会

浪速工業会主催による、ボーリング大会が、西梅田「桜橋ボウル」にて、11月15日に、開かれました。

各料対抗形式にて、我が機械科より、7名が参加し、大健闘の末、団体戦で、4位に入賞しました。

懇親ビールパーティーは、表彰式と平行して、大盛況の内に

に終わりました。今年度の催しには、是非皆様方の、より多くの参加を願っております。



# 萌芽会昭和61年度会計報告

(61.4.1~62.3.31)

総務会計 岩地馨

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
○前年度繰越金	166,158	○萌芽会々報3号印刷代	26,200
○普通預金利息	652	○祝儀	30,000
○寄付金 (山岡、高橋、大久保 各氏より有志一同)	37,890	○61年度卒業生記念品	30,400
○60年度部会還付金 19名	7,600	○通信費	22,060
○61年度部会還付金 87名分	34,800	○役員会会館使用料	3,400
○名簿広告料還付金	6,125	○役員会々議費	25,710
○会報 (第111号)	3,000	○卒業記念シール代	8,000
○第9回萌芽会総会会費	255,000	○萌芽会第2回 ゴルフコンペカップ代	6,100
○61年度在校生会費	24,000	○第9回萌芽会総会費用	257,000
合計	535,225	○備品文房具	19,836
		○雑費	26,570
		○次年度繰越金 74,339(現金) 5,610(預金)	79,949
		合計	535,225

## 会務報告

(昭和61年度)

●昭和61年3月22日(土)  
第一回萌芽会役員会を浪速工業会館で実施した。(会報編集、総会打合せ)

●昭和61年5月2日(木)  
萌芽会報第3号を発行した。(発行部数、一〇〇部、四ページ)

●昭和61年5月24日(土)  
第2回萌芽会役員会を浪速工業会館で実施した。(総会準備)

●昭和61年6月7日(土)  
機械電気科第3学年(79名)を対象に、進路懇談会が母校

●昭和61年8月9日(土)

●昭和61年10月22日(水)  
事業部により第2回萌芽会ゴルフコンペが実施された。場所は茨木高原カンツリークラブで会員11名参加された。

●昭和62年1月24日(土)

●昭和61年6月7日、母校機械電気科第3学年(79名)を対象に進路懇談会が実施されました。参加された先輩方は次の通りです。卒業年度順、敬称略)

●田中喜一(S41卒)  
三洋電機環境設備(株)

●新田安彦(S55卒)  
宮地ミシン(株)

●正武和久(S55卒)  
コンピュータサービス(株)

●稲次行宏(S57卒)  
大阪機電(株)

●島田隆昭(S59卒)  
油圧機器販売(株)

●正岡秀夫(S60卒)  
(株)坂本金剛工作所

●瀬尾孝志(S60卒)  
南海電気鉄道(株)

## 機械電気科職員紹介

●牧野正一(S41卒)  
(株)山武商会

●機電電気科六クラス、二三八名に対して、次の先生方で指導しております。

尚、機械電気科で四年間御指導下さった住川清先生は、この四月に此花工業高校に転出されました。先生の御労苦に感謝申し上げますと共に、今後の活躍をお祈り致します。後任に鷺見隆先生をお迎えしましたのでよろしくお願い致します。

科長 橋本三千穂

3年a組担任 菅沼 滋

3年b組担任 中野 清弘

2年a組担任 寺口 正信

2年b組担任 成田 義之

1年a組担任 田中 修二

1年b組担任 巽 利春

馬越 盛治 高橋 昭次

竹野 泰幸 拓原 康友

細野 浩一 村尾 勝継

鷺見 隆

昭和62年度  
会費納入のお願い

今年度より会費が三、〇〇〇円に上がりましたが、萌芽会への還付金も、その内一、〇〇〇円が入る事になりまして、御協力者の数が、減らない限り、大幅に、アップする事になり、萌芽会活動が、やりやすくなりまうので、是非、御協力をお願いいたします。

## 部会報の御利用を!

部会報は、3月末までに記事をもとめて、印刷に入る事になっておりますので、会員の皆様方には同窓会のお知らせ等の「伝言コーナー」を設ける様にしたいと思っておりますので、是非、3月末(2月中が一番適当)までに、原稿を送って下されば、部会報に取り入れたく思っております。(送り先)

〒534大阪市都島区善源寺町二丁目5番30号  
浪速工業会「萌芽会」宛

今年のプロ野球は、面白くなりそう。

パ・リーグは近鉄に現役大リーグが加入し、打線が昨年よりも数倍アップ、新人阿波野が活躍し、優勝戦線まちがいなしシーズン最後の、今から待ち遠しい?

## 協賛者

昭和39年卒・昭和41年卒・昭和43年卒  
昭和45年卒・昭和47年卒・昭和49年卒

鉄鋼用原料・大量買付

## 藤本金属

代表者 藤本明德 (昭41機電卒)

〒666-01 川西市東多田才谷3-7 TEL 0727 (93) 3693